

音楽における聴覚情報・視覚情報の関係 実験説明書

研究の目的

演奏評価において聴覚情報と視覚情報の優位性について議論されてきましたが、実験に使用されてきた楽器や音楽は西洋のものばかりでした。これは、楽器や音楽による特性・音響効果・身体動作などを制限してしまい、優位性を判断する上で何の情報も最も影響を与えているのかが不明なままです。

そこで、まだ明らかにされていない日本の伝統楽器である和楽器(三味線、和太鼓、琴など)を対象に実験を行います。この楽器は昔から親しまれ長い歴史を持ちますが、西洋楽器に比べてマイナーです。近年では中学校・高等学校の音楽の授業で導入されるだけでなく、全国大会が繰り返されるほど盛んになっていますが、口頭による伝承、楽器の複雑さ、資源不足による楽器の高騰、技術者や演奏者の減少問題があり、研究が十分に行われることはありませんでした。

本研究では、演奏の際の身体の動きなどの眼で見る情報（視覚情報）や演奏された音の情報（聴覚情報）がそれぞれ、審査員をどのように惹きつけているのか、客観的に明らかにすることを目的に研究を行います。研究では、先行研究のピアノ・ヴァイオリン全国大会と津軽三味線全国大会の演奏動画を用います。研究に参加する前にこの実験説明書をお読みいただき、ご協力いただける場合には、下記の「同意する」ボタンを押してください。

実験方法

実験は、インターネットに接続された端末（パソコン・タブレット・スマートフォン）上で行います。津軽三味線・ピアノ・バイオリン全国大会における2名（低分散：1位と2位、高分散：1位と下位）の演奏が再生されます。ただし、動画はオーディオのみ（25問）、ビジュアルのみ（25問）、オーディオ&ビジュアル（25問）の状態に分けられます。これらの状態の中から1位の演奏者を選択し、フォームに記入していただきます。再生順に関しては、先にオーディオのみとビジュアルのみの計50問がランダムに表示された後、オーディオ&ビジュアルの25問がランダムで表示されます。

動画の長さはそれぞれ6秒で、所要時間は45分程度です。何らかのトラブルにより動画視聴できなかった場合は、RESETボタンでやり直してください。最後には、基本情報記入欄（年齢、性別、音楽経験歴、津軽三味線経験歴、津軽三味線全国大会出場歴、その他音楽コンクール出場歴等）がございますので、ご記入のほどよろしくお願い致します。

個人情報とデータの取り扱い

取得したデータや個人情報は、研究目的以外には使用しません。あなたの氏名や住所など、直接的に個人を特定できる情報は取得しません。年齢、性別、音楽経験歴、津軽三味線活動歴などの、あなたの回答したデータには、研究用のID（例えば「ID0001」など個人が特定されない研究番号）が割り振られ、匿名化して取り扱いますので、専門学会、学術専門誌、研究会等を通じて研究発表する際、個人情報は守秘されます。謝金手続きのためだけにメールアドレスを記入していただきますが、謝金手続き以外の目的として一切使いません。データの保管には万全を期し、外部へは漏洩しません。この保管データは、研究が終了してから10年後までに破棄します。尚、取得したデータは匿名化して取り扱いますので、実験・調査実施者側では取得したデータがどの個人から取得したデータかを特定することはできません。その為、ご回答いただいた後で、研究データの使用を撤回することはできませんので、予めご承知おきください。

実験対象者の権利について

この研究に協力するかどうかは、あなたの自由意思で決定してください。この研究への参加に同意いただけない場合にも、あなたがなんらかの不利益を被ることは決してありません。また、一度同意した後いつでも同意を取り消すことができ、それによる不利益もありません。実験を中止したい場合は、いつでも中止していただいて構いません。それに

よる不利益もございません。実験を中止した場合には、中止するまでに得られたデータ（紙媒体・電子ファイル）や解析結果を破棄し、それ以降の研究には一切使用いたしません。ただし、取り消し要求された時点で公表済みの解析結果がある場合は、このデータを破棄できませんのでご承知おきください。

実験に参加することによる利益と不利益

本研究に参加することによる費用の負担はありません。参加されなくても不利益を受けることは全くありません。在学生に対しては履修科目の成績評価とは関係ありません。

学術的な利益として、希望者の方には、本研究成果が公表された際には、希望者に論文などのコピーを無料で差し上げます。

謝金の支払いについて

慶應義塾大学が定めた基準に従って、拘束時間に応じた謝礼を支払います。謝礼支払いの手続きに関しましては、実験フォームにご記入いただいたメールアドレス宛に、サベジパトリック准教授の秘書がご連絡いたします。

知的財産権について

研究の進展によっては、特許などの知的財産権が生じる可能性があります。知的財産権の帰属は、研究者または慶應義塾、あるいは慶應義塾外の共同研究者と協議のうえ決定され、データ提供者に帰属することはありません。

問い合わせ、苦情等の連絡先

なお、本研究に参加している方の権利が守られていないと思われた場合や、担当者以外の意見や情報が欲しい場合は以下連絡先へご連絡ください。

(連絡先) 〒252-0882
神奈川県藤沢市遠藤5322
慶應義塾大学 SFC研究倫理委員会
事務局：SFC事務室総務担当
Mail: rinri@sfc.keio.ac.jp

この文書及び説明者による説明を理解されたうえで、別紙該当欄にご署名をお願いいたします。ご理解賜りますようよろしくお願い申し上げます。

以上、何かご不明な点がございましたら遠慮なくお尋ねください。本研究へのご理解とご協力を深く感謝いたします。

(実験・調査実施者)
慶應義塾大学 環境情報学部
准教授 サベジ パトリック (psavage@sfc.keio.ac.jp)
大学院生 千葉 楽斗 (gane1222@sfc.keio.ac.jp)